



山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行所
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839
購読料 円共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷

第494号

1月号 TOPICS

- 2面…補助金・助成金会計と課税
- 3面…アプリを使った禁煙治療
- 4面…年頭所感
- 5面…日本の城郭
- 6面…75歳以上2割負担反対緊急要請



本年もよろしく
 お願い申し上げます
 役員一同

「白水仙幻走」 撮影 東根市 つばさ皮膚科 橋本秀樹先生 (写真コメントは6面)

新年あけましておめでとうございます。令和3年の新年に当たり山形県保険医協会の会員の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

昨年11月14日の第45回定期総会で理事長に選出されました中島幸裕でございます。國井兵太郎前理事長の理念を引き継ぎ、さらなる協会発展のため粉砕骨身、会員の先生方そして患者さんのために努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症が拡大し未だ収束が見通せない状況です。思えば昨年1月16日、新型コロナウイルス感染者が国内で初めて確認されましたが、その時は世界中で、そして日本がこれほど混乱するとは思ってもいませんでした。

2月の中旬に「日本環境感染学会」が横浜で開催され私も出席していました。赤レンガ倉庫の向こうに停泊しているクルーズ船で、まさかあのようなことが起こっているとは思っていませんでした。ただ、この学会でも中国発の未知のウイルスへの関心が一番高く、その報告に出席者一同固唾を呑んで聞き

入っていました。演者は口々に「今まで経験したことがない」「今までの知見は役に立たない」と述べ、愕然として山形に帰ってきたことを覚えています。

現在の最大の課題は、コロナ禍における医療従事者の安全確保と医療提供体制の確立です。昨年もいち早く國井前理事長と県庁の健康福祉部を訪問し、吉村知事を訴え山形県独自の医療機関への支援金給付も実現することができました。しかし、未だ収束が見通せない状況です。今後より深刻な経営危機に医療機関が直面するのではないかと危惧しています。簡便で迅速に対応できる実効性のある減収補填策、経済支援策を国へ要望していかねばならないと考えています。

医療機関が新型コロナウイルスと格闘し患者さんが新型コロナウイルスに怯え受診を手控えている最中、昨年12月9日の夜、菅首相と公明党の山口代表は紀尾井町の超高級ホテルのレストランで会食。75歳以上の窓口負担を1割から2割に引き上げる所得基準について、「単身世帯の年金収入で200万円以上」とする

ことでも合意しました。これまで1割負担だった約370万人の75歳以上の方が倍の負担を強いられることとなります。受診抑制が顕著になることは容易に想像できません。

翌日の12月10日、「なぜこんな時に!？」と居ても立っても居られず、豊田博巳副理事長と連れ立って「75歳以上の窓口負担2割導入中止を求める要望書」を携え、与党自民党の重鎮、遠藤利明衆議院議員の市内の事務所を訪ねました。遠藤議員は不在でしたが、秘書の方に医療現場で感じる75歳以上の方の厳しい生活の実態を訴えました。豊田副理事長も「2割負担になれば多くの患者さんが歯科受診をためらう。歯科医療政策にも精通する遠藤議員のお力をぜひお借りしたい」と訴えています。

その足で国民民主党の舟山康江参議院議員、無所属の芳賀道也参議院議員事務所も訪ね、お話しさせていただきました。

新年の挨拶にふさわしくない暗い話題ばかりになってしまいました。山積する課題に迅速に取り組んで参る所存です。本年もどうぞよろしくお願いたします。

新年のあいさつ

理事長 中島幸裕

も増加、コロナに翻弄された一年であった。私の執筆が新年号となり、新春にどうかと思うが、第45回定期総会の理事長選挙の敗戦の弁を記す。第3代理事長となつた中島体制の活躍を期待しつつ、一方、県協会や理事会の現状を見つめ直す必要があると思う。地区医師会の会長が選挙で選ばれたのは稀である。前会長の指名や理事会で決定されるのが始どであろう。今回の協会理事長選挙は選挙となつた。もちろん、会員の選挙で選ばれるのは民主主義のルールで当然である。問題は、総理大臣もそうであるが、民意、会員の声が反映されるかである。選挙規定によると、総会の参加者のみの投票である。知り合いの会員は、今どき郵便投票等がないのはおかしいと言っていた。アメリカ大統領選挙でも郵便投票の不正をトランプ氏が強調したが、事務局によれば、開票の複雑さもハードルらしい。当協会の850余名の会員の30票弱の票数で今回は決着した。私はどちらかといえば野党寄りと思うが、保団連の主張や活動にも一部批判的である。開業医会員の多くは、よい医療も求めるが会員の利益も求めており、謙虚に耳を傾け寄り添う必要がある。

本原稿執筆は12月10日、コロナウイルス感染者は過去最高で県内の感染者も増加、

つばさ

は12月10日、コロナウイルス感染者は過去最高で県内の感染者も増加、